

平成29年度水産研究所研究成果発表会の開催

平成30年3月13日、岡山市のピュアリティまきびにおいて、水産研究所研究成果発表会を開催しました。この発表会は、水産業界関係者をはじめ広く県民に当研究所が行う研究開発の成果の一端を紹介し、理解と関心を深めてもらうことを目的として平成24年から始めたもので、当日は漁業者および漁業関係団体、県市町関係職員、大学等教育機関、一般県民等58名が参加し、口頭発表3課題、ポスター6課題の展示と意見交換を行いました。

口頭発表ではまず、水圏環境室の濱崎専門研究員が「海底耕うんによる漁場生産力向上の試み」と題して、海底に蓄積した栄養塩を耕うんによって海水中へ供給し、海の生産力を向上させる試みについて紹介しました。発表後の参加者へのアンケートでは、「事業を拡大していくにあたって他の海底についても調査してほしい。」等のご意見をいただきました。

次に、開発利用室の泉川専門研究員が「アサリを守り育てる」と題して、稚貝の減耗防止対策や天然採苗および種苗の育成試験等について紹介しました。アンケートでは、「減耗要因の一つがクロダイだということを知った。」等のご意見をいただきました。

次に、資源増殖室の弘奥研究員が「岡山県におけるアキアミの資源生態」と題して、資源動向予測と管理手法の検討を目的とした資源生態調査の概要について紹介しました。アンケートでは、「今回の研究を皮切りにアキアミの生態が解明されていくと感じた。」等のご意見をいただきました。

このほかにも、「カキ殻を利用した底質改善の取組」、「モニタリングデータを活用した植物プランクトンの発生子測」、「シャコの資源生態」、「増えた魚・減った魚 - 岡山県東部海域における漁獲状況の変遷 -」、「岡山かきの美味しさの見える化」、「アユ資源

回復のための漁場環境調査」といった最近の調査研究を紹介したパネルを展示しました。

今回の成果発表会を通じて、豊かな海を実現するため課題解決に向け取り組むことが私たちに課せられた責務であることを再認識しました。最後に、当日参加していただいた皆様方、開催にあたりご協力いただいた関係各位に改めてお礼を申し上げます。(資源増殖室：近藤)



藤井所長あいさつ



発表風景